

対馬の環境問題から考える海流の循環

学校名:都立三鷹中等教育学校 名前:久富悠生

対象	中学2年	単元名
科目	理科	海流の循環
時間	1時間	目標
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』ほか	
		その1 日本周辺の海流を理解する その2 大気大循環の影響によってできる海水の循環を理解する その3 海流によって長崎県の対馬では漂流ゴミがたくさん流れ込んでいることを知り、海と人の関わりについて課題を見出そうとしてしている。

期待できる学習効果

- ・その1 長崎県の漂流ゴミの課題について理解を深めることができる。
- ・その2 授業で学習したことを社会問題とつなげて考えることができる。
- ・その3 実際の社会課題に触れながら、自然現象を理解することができる。

授業内容と生徒の様子

問い:対馬にたくさんのごみが流れつくのはどうしてか?

①導入

- ・長崎県対馬市の漂流ゴミの映像を視聴する。(5分)

②展開1

- ・「あおいほしのあおいうみ」から対馬市の環境問題についての情報を抜き出す。(8分)
- ・グループ&クラスで共有する(5分)

1年間に対馬に漂着するごみの量は 30000~40000 m³ 中国、韓国から、
→ 木材、ペットボトル、プラスチック類、発泡スチロール類、漁具
海が汚れて砂漠化→磯焼け、魚がとれない→漁師が減り続ける。
回収しても減らないごみ→回収や調査のための費用も入る負担になっている。
→ 1億8000万円

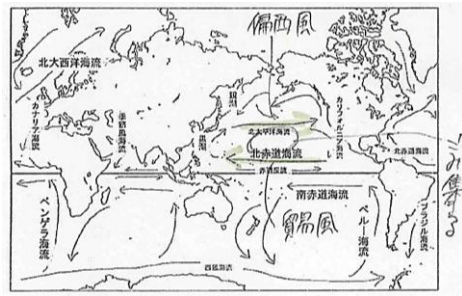
③展開2

- ・対馬周辺の海流について「あおいほしのあおいうみ」p.50をもとに、図にまとめる。(2分)
- ・世界の海洋循環についてまとめる。(3分)
- ・教科書や図表を見ながら大気大循環と海洋循環との関係を調べる。(10分)

対馬の環境問題から考える海流の循環

学校名: 都立三鷹中等教育学校 名前: 久富悠生

授業内容と生徒の様子(続き)



・問いに対する答えを記述する。(5分)

太平洋上で貿易風と偏西風の影響で時計回りの循環が起き、黒潮が日本海に対馬海流として入り込むと、日本海の入りに位置する対馬は温暖化する。

④まとめ

・今後私たちは「うみ」にどのように関わっていくべきか、自分の考えを記述する。(10分)

ごみが発生するのはしょうがないことなので、それをポイ捨てしない(川から海にごみが行くため)、分別するなど心がけることが大切だと思う。また、みんなで協力してごみを集めるなどのボランティア活動も大切だと思う。

外国からのごみだから自分達は無関係と考えるのでは無く、世界で行われている海洋ごみ問題解決のための取り組みはどのようなものがあるのか、また、海洋ごみが環境や、自然に与えるダメージの深さについて理解を深めることが大切だと思える。

・教師から簡単にフィードバックを行い、ワークシートを回収する。(2分)